

ありがとうございました 図書館サポーター報告

図書館サポーターは、図書館の魅力を伝える学生有志による活動です。

図書館の蔵書を検討して学生に必要な図書を選書する学生選書委員会や、サポーター企画「図書館を遊ぶ」ではいろんなイベントや展示を実施、また、広報誌を作成して企画の宣伝や特集など行ってくれました。また、図書館のサービスについても学生の立場から助言をしてもらったり、留学生向けに利用案内の英語版を作成してもらったりと、図書館の運営にも尽力してもらいました。利用者の学生さんたちにも面白い企画や展示で親しみやすく利用しやすい図書館と感じてもらえたと思います。私たち図書館のスタッフにも勉強になることがたくさんありました。忙しい中、本当にありがとうございました。

2015/3/30 図書館・係長 涌井弘美



サポーターの皆さんに1年間の活動を振り返って感想をいただきましたので紹介します。不手際で連絡がつかずコメントをここに掲載できなかった人もおり、まことに申し訳ありませんでした。

英語教育専攻2年・福森喜歌 (BookPaper 4号・英語版利用案内作成・ビブリアバトル)

サポーターの活動を通して「どうやったら図書館が面白くなるのかな」ということを考えました。「本を読む」「本を楽しむ」というのは学習でも大切なことだと思います。そういう意味で教員になってからも役立つ経験をさせていただきました。

数学教育専攻1年・伊藤菜月 (図書館の仕事体験ツアー)

企画も仕事も中途半端で職員の方々に多大な迷惑をかけたと思いますが、とりあえず終わってしまえば安心しました。少しでも役に立っていれば良かったと思います。自分が企画したツアーは楽しかったです。

社会科教育専攻・廣田千尋 (BookPaper 3号)

図書館サポーターとしてブックペーパーを作ってみて、どうやったら面白い記事になるのかを考えるのが難しかったです。そして、1人ではなく、先生方やサポーター、司書の方の協力があってこそより良いものができるのだと思いました。あまりサポーターの仕事に参加できなかったのが反省点ですが、貴重な経験をさせていただきました。

社会科教育専攻1年・原宗一郎 (八重山地区教科書採択問題から考える教科書)

目的の資料を探しているうちに面白い本などを見つけて新たな趣味を発見するのが楽しかったです。展示の文章が何回直してもレポート調になってしまい大変でした。社会をにぎわせている事柄を取り上げた展示を増やせばより図書館に親しみを持ってもらえると思います。

国語教育専攻1年・石郷岡はるか (図書館の仕事体験ツアー)

一度、サポーターとしての活動に大きく関わらせて頂いたのですが、図書館を訪れてもらう人を増やすというのは本当に難しいなあ、と思いました。企画が無事に終わったときは、ホッとしました。

音楽教育専攻院1年・長堀拓斗 (さあ、学校で合唱だ！)

スタッフの人と、あんな企画こんな企画はどうかとお話しているうちに、『合唱と図書をつなげよう』ということで具体的な内容を詰めていきました。色々やりたい事が出来て来て曲目が増えてしまい、減らすのに苦労しました。イベント当日、留まって聴いてくれる学生さんがいてとても嬉しかったです。また機会があればやりたいです。